

温故知新

日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化で彩られています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

大地神社の「石枕」

深山口には、氏神である大地神社に参拝したときに、本殿の中に置かれている「石枕」を取り出して、本殿前で赤子の頭を東に向けて、晴れ着のまましばらく寝かせるという宮参りの風習が伝わっています。

宮参りとは、生後1か月が経つと、氏神に参拝して報告をするとともに、その成長を願うことをいいます。

日本では古来、大自然の万物の全てに神が宿るとされており、その中でも石には神の霊が常に宿る依代として、その石を大切にする信仰がありました。大地神社の石枕の風習も、誕生から1か月ほど経ってから宮参りを行い、氏子になる儀式であるとともに、神様の宿る石から力を授けてもらおうとする信仰によるものとされています。

〈石枕の風習〉



大字深山口

大字深山口は、南比都佐地区のほぼ中央の駒月谷の谷間に位置し、大字清田・鎌掛・下駒月・迫と接しています。字域には大字上駒月を源流とする砂川が中央を流れ、東端には嶺上を鎌掛・下駒月との字界を二分している標高280メートルの小岳があります。

地名の由来としては、小岳が古くは「御山」といわれており、当地が同山の谷口にあたることから「滋賀県の地名」や、往古この辺りを「綿の深山」（来田綿ノ深山）といい、東海道より幽山へ入る口という意味から「蒲生二郡記」乾）などといわれています。史料では、文明18（1486）年「十禅師御宮勧進請取日記」（『近江日野の歴史』第五巻文化財編）に「ミヤま口若宮」と記されています。

深山口村の江戸時代の領主は、館林藩・前橋藩・川越藩・幕府・川越藩と代わり、最終的には前橋藩領を経て明治時代をむかえました。

誉れの松

特別養護老人ホームや日野町立南比都佐小学校の校歌に歌われる「誉れの松」には、次のようないわれが残っています。

〈旧南比都佐小学校校舎越しに見る誉れの松〉



ある日の夕暮れに一人の老人が深山口村の道をとぼとぼと歩いていましたが、やがて道端に座り込んでしまい、村人が声をかけても応えられないほど弱っていました。仕方なく村人は、その老人を庄屋の家へと連れて行つたところ、ふるさとの伊勢に帰りたいと言いながら息を引き取ってしまった。庄屋はこの老人を手厚く葬り、その場所には1本の松の木を植えました。

この松は、明治35（1902）年から、庄屋や村人の親切な対応に感動した滋賀県知事河島醇の勧めにより、「誉れの松」と呼ばれるようになりました（『近江日野の歴史』第六巻 民俗編）。

昭和54（1979）年に伐採されましたが、代わりに幼松が植えられました。

◆問い合わせ先

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」

☎0748-52-0008



みんなのとしょかん



本の紹介

『観光客を助ける英会話』

はまさきじゅんのすけ 濱崎潤之輔／著 アルク

「困っている人(観光客)を助けたい」と思ったことはありませんか？実は中学生のときに習った簡単な英単語でも、かなりの対応ができるんです。この本には観光客を助けるときに使う基本的な英語がまとめられています。声かけやコミュニケーションの大切さが伝わってくる一冊です。

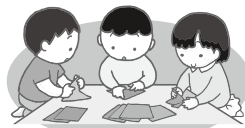


図書館からのお知らせ

○4月から「おはなし会」の日程・内容が変わります

図書館の「おはなし会」は4月から第2土曜日の午前11時から変わります。

読み聞かせのほか、折り紙やプラバンなどの工作も行います。時間は30分ほどです。ぜひお越しください。



行事予定

※行事・サービスは中止になる場合があります。

「おはなし会」 4月12日(土)11:00～(30分程度)

「おひざでっこのおはなし会」 4月19日(土) 11:00～(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。

「託児サービス」 4月16日(水) 10:00～12:00

0～3歳のお子さんが対象です。

「えいが会」 4月20日(日) 14:00～

『お終活』2021年／日本(113分)

◆問い合わせ先 日野町立図書館
☎0748-53-1644

①あいさつでつながるいい笑顔
②きいてみよう自分の気持ちと相手のおもい
③楽しもうどうせやるならよるこんで
④チャレンジをやらへんなんでもったいない
⑤しっぱいも「かまへんかまへんだんないで」
⑥だれとでもたよ

去る3月9日、日野町町村合併70周年記念式典にて、子どもも大人も気持ち良く暮らすための「合言葉」として、新たに「ひのっこ宣言」を発表いただきました。小学校3年生から高校2年生までの18名の皆さんが公募で集まっていたが、青少年育成町民会議の6名の大人の皆さんとともに3回のワークショップで議論を重ねて策定いただきました。参画いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

「ひのっこ宣言」発表

りたよれ助け合い ○ひのっこがよりよい日野町つくります！

この宣言は、知識や学力といった認知能力ではなく、人生の土台となる「やる気」「忍耐力」「協調性」といった非認知能力に主眼が置かれています。子どもも大人も、孤立や孤独という課題に直面する中、それぞれが自他を大切に、自己肯定感を高めることが大事だと私たちは考えています。

日野町では、令和5年度から小中学校を中心に、子どもたちのポジティブな行動を支援する取り組み(PBS)を進めており、少しずつその効果が始まっています。今年度には、学習指導員や不登校支援コーディネーターなどの増員も予定し、子ども達を支える体制の充実を図ります。

今後「ひのっこ宣言」を活用し、町内の学校園などで唱和する機会を設けるほか、「ひのっこカレンダー」を作成し、町民の皆様への周知啓発も含め配布する予定です。地域みんなで、子どもも大人も笑顔になれるそんなまちづくりを進めてまいりたく思います。一層のご協力のほどよろしくお願いいたします。